

新収蔵作品

おひろめ展

平成27年5月20日〔水〕～6月28日〔日〕



松本 眞《水管の少女》制作年不詳

平成26年度新たに収蔵した作品の数々。
ますます充実するコレクションをお楽しみください。

松本市美術館が担う役割の一つに、美術資料の収集があります。

当館では、平成14年度の開館以来、方針に沿った継続的な作品収集に努めてきました。これは、先人たちが生み育んだ美意識を、今を生きる私たち、そして未来の子どもたちへと伝える大切な役割です。

そうして集められた一点一点は、松本市美術館のコレクションを形成するピースとして相互に作用しあい、新たな“松本スタイル”の創造へと繋がります。

本展では、「日本近代書道の源泉」「戦後美術の一断面」「人物を描く」の3つのテーマで新収蔵作品をご紹介します。



上段左より 松山白鶴(万歳)1935年、倉田勝弘(おひろめ)2012年
下段左より 藤松 博(2月の最後の日曜日)1964年、堀内康司(舞臺(赤い煙突))1954年



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 松本市中央4-2-22
Tel.0263-39-7400 Fax.0263-39-3400
URL <http://matsumoto-artmuse.jp/>

〔開館時間〕9:00～17:00(入場は16:30まで)

〔休館日〕月曜日(ただし、6月1日は開館)

〔観覧料〕大人410円(310円)、大学高校生200円(100円)

※()内は20名以上の団体料金 ※70歳以上の松本市民、中学生以下無料

※障がい者手帳携帯者とその介助者1名無料